

2021年度 総合型選抜試験(B日程) 法学部 法律学科 「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
14	11

2. 法律学科 アドミッション・ポリシー

法律学科では、法的思考能力(リーガル・マインド)を備え、現実の社会におけるさまざまな問題に対して、論理的かつ合理的に考え、柔軟かつ適切な解決策を導き出すことのできる人材の育成を目指しています。

そのため、高い志と正義感、忍耐力を備え、以下のような適性を持った意欲ある志願者を求めています。

- ① 社会の動きについて、幅広い関心と知識を持っている人
- ② 物事を柔軟かつ論理的に考え、自分の意見を的確に表現できる人
- ③ 多様な意見に耳を傾け、適切な解決策を導き出す努力ができる人

総合型選抜入学試験では、志願者の自己推薦ポイント(人間性、活動実績、将来への夢・希望など)が、これから法律学科で学んでいく上でどのような意義をもつかを、みなさん自身の言葉で明確に表現できることが望まれます。

3. 出題の意図

本問は、上記アドミッション・ポリシーのうち、主として「①社会の動きについて、幅広い関心と知識を持っているか」、「②物事を柔軟かつ論理的に考え、自分の意見を的確に表現できるか」を問うことを意図している。

本問のテーマは、2020年6月の道路交通法改正によって創設された「妨害運転罪」である。これは、近年大きな社会問題となっている「あおり運転」を取り締まるものであり、社会的関心も高いといえる。

本問は、あおり運転の問題、および、妨害運転罪について、日頃のニュースを通じて把握しているかを問うとともに、それを踏まえたうえで、自分の意見を述べることを問うことを意図している。

4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

2017年6月に神奈川県東名高速道路で発生した、あおり運転をきっかけとする死亡事故（東名高速夫婦死亡事故）、2019年8月に茨城県の常磐自動車道で発生した、あおり運転をともなう傷害事件（常磐道あおり運転殴打事件）など、近年、悪質なあおり運転が重大な事故・事件につながるケースが相次いで発生し、ニュースでも大きく報道され、社会に衝撃を与えた。

このような状況において、2020年6月、道路交通法が改正され、妨害運転罪が創設された。これは、他の車両等の通行を妨害する目的で、急ブレーキ禁止違反や車間距離不保持などの10種類の行為をした運転者に、厳しい罰則を科すものである。

この妨害運転罪の創設により、あおり運転の抑止が期待されるが、他方で、妨害運転の判断基準があいまいである、罰則が重すぎる、といった意見もある。

以上のような、あおり運転をめぐる社会状況について説明したうえで、妨害運転罪について、自分の意見を述べてもらいたい。その際には、どのような取り組みを行えばあおり運転を減らすことができるか、といった内容も盛り込むことができれば望ましい。

2021年度 総合型選抜試験(B日程) 法学部 地域行政学科 「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
12	9

2. 地域行政学科 アドミッション・ポリシー

地域行政学科は、法律・政治・行政分野の学びを通して、より深い見識と広い視野を身につけ、将来的に地域社会のリーダーとしてその発展に貢献できるような人材になりたいという強い意欲を持つ志願者を求めます。そして、このような志願者を受け入れるために、特に次の点を重視します。

1. 地域社会の出来事や国内外の情勢に強い関心を持ち、地方自治体および民間企業のなかで地域社会の発展のために貢献していこうとする強い意欲や希望、自らの将来計画、更には行動力を有していること。
2. 地域社会の抱える課題を発見し、これまで学んできた知識をもとにその解決策を論理的に考えることができること。
3. 課題解決に取り組む際に、まずは自分自身の考えを持ち、そして他者との意見交換を通して議論を発展させ、一定の成果を挙げることができること。
4. 様々な価値観を持つ他者に対して自ら働きかけ、他者と協働して目標を達成した経験を有していること。
5. 国語や社会の科目について、現代社会の課題を発見し解決する能力を向上させるうえで前提となる知識や読解力・文章力といった、高等学校で身につけるべき基礎的学力を有していること。

3. 出題の意図

この問題は、アドミッション・ポリシーで述べている、地域社会の状況、国内外の情勢への関心を、沖縄県という一つの舞台に即して、課題発見、課題解決に繋げる努力ができるか、を見ることを意図しています。何を課題として挙げるかから、広く社会への向き合い方を判定し、次いでそこからどのような将来を展望するかにより、自分自身の考え方が明瞭に述べられるか、また、社会には、自分とは異なる見方、考え方があることを配慮できるかを判断します。

全体として、「自分が沖縄県知事になったら」という想定枠組の中で、以上のような内容を、大学進学を目指すにふさわしい小論文にまとめられるかを見たい、という出題の意図です。

4. その他特記事項(評価のポイント・アドバイスなど)

普段から、身近な地元の出来事から、沖縄県、日本、そして世界で何が起きているかに関心を持つようにしましょう。

また、文字情報を積極的に取り入れるようにして下さい。読めば読むほど、理解力も付くだけでなく、書く力の土台も作ることができます。動画から学べることも多く、動画も活用して欲しいですが、大学での勉強には、文字情報を扱う力が必須です。本、新聞、雑誌など、紙媒体でもインターネットでも構いませんが、文字を読む訓練を続けて下さい。

2021 年度 総合型選抜試験(B 日程) 経済学部 経済学科 「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
15	6

2. 経済学科 アドミッション・ポリシー

経済学科は、地域の自立および国際社会の発展に寄与するという教育研究目標のもと、社会人として諸問題を解決していくために求められる基本的な資質である「知識」、「考察力」、「表現力」を有する人物の育成を目指し、以下のような人物を求めます。

1. 経済を含む地域および国際社会の諸問題に強い関心がある人物
2. それら諸問題の解決策を導き出すための幅広い知識獲得に意欲がある人物
3. それら諸問題について論理的かつ主体的に考察をし、行動する意欲がある人物
4. 経済学や関連する諸分野の専門知識を応用し、社会において活躍することを望む人物
5. 経済学や関連する社会科学分野を学ぶために必要である高等学校卒業程度の基礎学力を有する人物

3. 出題の意図

経済学科では、社会人として諸問題を解決していくために求められる基本的な資質である「知識」、「考察力」、「表現力」を有する人物の育成を目指している。そのため、今回の問題では、語彙や文章構成力と同時に日ごろから社会経済への関心を持ち、かつ論理的に思考することができるかどうかを測るものである。コロナの影響について客観的な視点で分析し、沖縄の現状を把握し、今後の働き方についても自分の考えを展開できるかを問う内容となっている。

4. その他特記事項(評価のポイント・アドバイスなど)

経済は幅広い分野にわたるが、本問題では沖縄の労働雇用面に焦点を当てた。コロナ禍については、毎日新聞やテレビで取り上げられている中、それを問題意識として持ち、論理的、客観的に思考し、表現する力を見る。そのため、採点においては、沖縄の社会経済に対する知識や関心の高さ、洞察力の高さを評価した。また、語彙や構成といった文章力と論理的な文章であることも評価のポイントである。

2021年度 総合型選抜試験(B日程) 経済学部 地域環境政策学科

「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
5	4

2. 地域環境政策学科 アドミッション・ポリシー

地域環境政策学科では、経済の視点から地域と環境を考えることを通して、環境に配慮しながら地域経済の発展に貢献し、持続可能な社会を創造できる人材の育成を目指しています。そこで、本学科では、次の1~4について自らの言葉で説明できる志願者を求めています。

1. 沖縄及び世界の経済や環境の問題、政策に広く関心がある人
2. 沖縄の過去・現在・未来に関心があり、地域社会へ貢献したいという熱意のある人
3. 社会で起きている様々な事柄に関心を持ち、フィールド(現場)に出て、積極的に活動することが好きな人
4. 大学の授業に耐えうる基礎学力を有し、勉学に対する意欲がある人

3. 出題の意図

沖縄を含む世界的時事問題(新型コロナウイルス感染症拡大問題)を出題することで、アドミッション・ポリシーとの適合性をみることを心掛けた。

4. その他特記事項(評価のポイント・アドバイスなど)

評価ポイント

- ・問題文における質問を正確に理解し、それに即して答えているか。
- ・アドミッション・ポリシーとの適合性を示せているか。

2021 年度 総合型選抜試験 (B 日程) 産業情報学部 企業システム学科

「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
21	11

2. 企業システム学科 アドミッション・ポリシー

企業システム学科では、情報化、国際化の進展の中、多様なビジネス活動に対応できる人材の育成を目指し、「マーケティング」「経営」「会計」の 3 分野を柱に専門的、体系的に学んでいきます。よって、本学科では以下のような志願者を求めます。

1. ビジネスの専門的・体系的な学びを通じて自分自身のスキルや能力を鍛えるために必要となる、基礎的学力と教養を身につけている人物。
2. 企業システム学科で学びたい事を自覚し、それを具体的に表現できる人物。
3. ビジネスの課題を発見しそれを解決へ導くために、思考力と判断力を発揮して、自分の意見を的確に説明できる人物。
4. ビジネスへの深い探究心と広い好奇心、そして大学卒業後のビジョンを抱き、地域・国際社会に貢献する意欲を有する人物。
5. 自分自身が主体的に取り組んできたことや、周りの人たちと協力して取り組んできたことが、大学で学びたいことと結びついている人物。

さらに、多様な資質を有する学生を総合型選抜によって受け入れ、その資質を開花させるために必要な教育を通して将来のビジネス社会で活躍できる人材育成を行います。総合型選抜では、上記の 5 項目に加えて、他者に誇れる活動や実績等を背景とした、卓越した知識や考え、意見を持っている人物を求めます。

3. 出題の意図

企業システム学科では、情報化、国際化の進展の中、多様なビジネス活動に対応できる人材の育成を目指している。この小論文の出題の意図は、そうした人材の育成を目指す本学科での学修にあたり、必要な能力を、受験生がどの程度持っているかみることにある。今回は、コロナ禍以降さまざまなニュースで取りあげられ、多くの人を知ることとなった、エッセンシャル・ワーカーの労働問題について出題した。医療、福祉、小売など、私たちの社会を支える人たちが

おかれている状況を、公民科で学んだ内容も踏まえてどれだけ理解しているのか、そして課題解決に向けて、どこまで深く思考できるのかをみようとした。

4. その他特記事項(評価のポイント・アドバイスなど)

この小論文では、まず、基礎的な教養がどの程度あるかをみている。ここでいう教養とは、国語の学力に加え、社会一般に対する普段からの関心の広さと深さを表す。次に、論点を整理して、論理的に表現できているかをみている。最後に、社会の問題を他人事としてではなく自分のこととして主体的にとらえ、解決しようとする意欲が伺えるかをみている。

2021年度 総合型選抜試験(B日程) 産業情報学部 産業情報学科 「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
15	7

2. 産業情報学科 アドミSSION・ポリシー

産業情報学科は、産業経済および情報科学・技術の基礎および専門領域における実学的な知識を習得し、高度情報化社会を牽引する国際的なスペシャリストの育成を目指します。また、「情報」「経済」「語学」の3分野を専門的、体系的に学び、さらに地域ないしグローバルビジネス分野で活躍できる人材を育てていきます。具体的には次の能力・人材を養成・輩出していきます。

1. ビジネス・産業・経済の課題を分析し、地域や国際社会に対して解決に向けた提言ができる能力・人材
2. 総合的な情報技術を習得し、高度なプログラミングおよびシステム設計を学んだ上で、デジタルコンテンツのデザインやマネジメントを推進できる能力・人材
3. 異文化を理解し、グローバルなビジネス現場で必要な対話力・実務力・課題解決力を有する人材
4. 「情報」「経済」「語学」の知識を応用し、自らの社会的責任を自覚し地域で積極的に貢献できる能力・人材

上記の人材・能力を養成・輩出するために下記のような志願者を求めています。

1. 「情報」「経済」「語学」など実学に幅広く興味・関心があり、それらを深く学びたいと思う態度や、それらを学ぶ上で基礎的な知識・学力を身につけている人物
2. 産業情報の知識を科学的・論理的に学び国際社会や地域の課題を解決する能力や日本語・外国語についての基礎的な知識やコミュニケーション能力を身につけている、あるいはそれらをさらに学ぶ意欲のある人、研鑽しようと努力する人物
3. 大学生活で自ら進んで深く学ぼうと努め、学生・教員の間で互いの価値観を認めつつ協働して勉学に励みコミュニケーション能力を身につけた人物

さらに、総合型選抜では、上記の3項目に加えて、以下の項目を掲げ学力だけでは測れない多様な資質を有する志願者を求めています。

1. 情報技術、またはスポーツ文化活動、語学、ボランティア活動などにおいて他者に誇れる実績などを有している人物
2. 産業情報学科で学びたいことを明確にアピールできる人物
3. 大学卒業後の具体的なビジョンを描き、自己研鑽できる人物

3. 出題の意図

小論文試験は、以下の出題意図に基づいている。

- ① 情報技術およびビジネス全般、地域社会について関心を持ち、基本的な知識を有しているか。
- ② 出題された設問に対して、論理を組み立てる思考力、自分の意見の論拠を示して明瞭に表現できるか。
- ③ 大学入学後に学ぶ知識を、自らの将来設計や社会的課題解決に活かそうとする意欲を有しているか。

4. その他特記事項(評価のポイント・アドバイスなど)

産業情報学科では、「情報」「経済・ビジネス」「語学」など実学に幅広く興味・関心があり、かつ学ぶ意欲のある人物を求めています。今回の小論文試験では、出題の意図①～③に加えて、論理展開に無理はないか、語句の用法に誤りはないか、指定された文字数でまとめているかを評価しました。

新聞などから最新の情報を得る習慣を身につけ、国際社会、日常生活、情報技術等の課題に加えて、新たな取り組みと活用について関心を持つようにして下さい。また、自分はどう考え、どう行動するか、どのようにすれば効果的に実現できるか、できることは他にもあるのでは、他にも活用できるのでは、といった視点を持つことも大切です。さらに、小論文試験対策としては、時間的な制約と文字数の指定を踏まえ、指定時間内で書く練習をすることもお勧めします。

2021 年度 総合型選抜試験(B 日程) 総合文化学部 日本文化学科 「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
6	6

2. 日本文化学科 アドミッション・ポリシー

日本文化学科は、日本文化及び琉球文化への造詣を深めることを教育上の目的としています。具体的には、言語・文学を中心とする理論的、かつ実践的な教育を通して、国際社会、情報社会、地域社会の中で自己の役割を深く認識し、生き生きと実践できる人材、そして、豊かな知性、分析力、情報処理能力、表現力、コミュニケーション能力、共生能力を備えた人材を育てていきます。

日本文化学科は、以上の学科の教育目標と沖縄国際大学のアドミッション・ポリシーに照らし、次のような志願者を求めます。

1. 言語・文学を中心とする日本文化及び琉球文化、またグローバル時代に求められる多様なコミュニケーションについて主体的に学ぼうとする意欲・関心をもつ人
2. 1の学びを深めるための基礎学力をもつ人
3. 地域社会、国際社会、多文化社会、高度情報社会の中で生じるさまざまな課題を解決するために必要となる、基礎的な思考力・判断力・表現力(読解力を含む)を身につけている人

総合型選抜では、上記の 3 項目に加えて、以下のような能力・意欲と基本的な学習習慣をもった志願者を求めます。

1. 批評・創作を含む広い意味での表現活動、知的好奇心を深める豊かな読書活動、琉球文化の継承発展に関する活動、国際交流活動などの領域で優れた実績を上げ、大学生活の中で、さらに深めようとする人。
2. 国語科教員、日本語教員、図書館司書(学校司書を含む)、司書教諭などの当学科の専門領域に関わる職業に深い関心を持ち、それを通じて社会貢献を目指す人。
3. ボランティア活動、課外活動(スポーツ、文化活動ほか) などを通して、広い視野(多様性)やコミュニケーション能力を備え、大学での学びに生かそうとする人。

3. 出題の意図

日本文化学科では、アドミッション・ポリシーに基づき、3つの専門領域への関心の高さを測るための試験問題を毎年出題しています。今年度は多文化間コミュニケーション分野の問題を出題しました。問1は要約問題、問2は意見文問題となっています。問1では適切に情報をインプットし、それをまとめて伝える能力を測っています。また、問2では上記の分野への関心の高さ、論理的な文章を書く力を測っています。どちらも、大学で学んでいく上で必要となる基礎的な知識・技能である言語運用能力を問うています。

4. その他特記事項(評価のポイント・アドバイスなど)

要約問題については、

- 1) 英語偏重が進むと、日本が言語階層社会になること
 - 2) 日本では日本語を使う権利があること
 - 3) 英語への乗り換えが世界中で起きていて、日本も同様になる可能性があること
- の3点が含まれていれば高い評価を与えています。

本文中で多く紹介されている事例を省き、問題提起→展開→まとめという流れをつかむことが重要です。

意見文問題については、多文化間コミュニケーション分野についての関心・知識、「ことば」についての関心・知識を持つ受検生ほどより深い考察ができる問題になっています。

- a. ある言語が母語話者にとってどのようなものか
- b. 外国語を学ぶことの意味や意義

などを含めて論じられると評価の高い意見文になります。

2021 年度 総合型選抜試験(B 日程) 総合文化学部 英米言語文化学科

「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
9	6

2. 英米言語文化学科 アドミッション・ポリシー

英米言語文化学科は、沖縄国際大学のアドミッション・ポリシーおよび学科の教育目標に照らし、以下のような志願者を求めます。

1. 英語圏の言語・文化に強い関心を抱く人
2. 高い英語力の習得に主体的・自律的に取り組む意欲のある人
3. 英語を通じて日本と世界をつなぐグローバルな志を持つ人
4. 共に学ぶことの意味と意義を考え、よりよい学びのために他者と協働できる人
5. 多言語・多文化理解に必要な基礎的の学力を持つ人(総合型選抜:英検 2 級、CEFR B1 程度の英語力を持つ人)
6. 他者とのコミュニケーションを通して、望ましい人間関係の構築を図れる人
7. 多文化共生社会において諸問題の解決に求められる基礎的な思考力・判断力・表現力などを有する人

3. 出題の意図

英米言語文化学科は、世界の人々対話・交流するために必要な「真に国際的に通用する実的な英語力」と、益々グローバル化する社会に対応できる「情報処理技術」を身につけた人材の育成を目指している。したがって、この学科の入学希望者には他者とのコミュニケーションを大切に、理想的な人間関係の構築と英語力の向上に積極的に努力する人物を求めている。

次の英文は、基礎的生活条件を親に依存している独身者について述べたものである。解答者には、英語の語彙力だけでなく、文章全体の構成や段落のつながりを理解し、それぞれの段落の要点を整理し、日本語で簡潔にまとめる力が求められる。

4. その他特記事項(評価のポイント・アドバイスなど)

特になし。

2021 年度 総合型選抜試験 (B 日程) 総合文化学部 人間福祉学科社会福祉専攻

「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
0	0

2. 人間福祉学科社会福祉専攻 アドミッション・ポリシー

社会福祉専攻では、以下のような志願者を求めています。

- I. 将来、社会の各分野で社会福祉の専門家として働くことを強く希望し、その素質が十分であると認められる人物。
- II. 社会福祉の分野に活かせる具体的な能力や技能を有し、大学での勉学や将来において活用が期待できる人物。
- III. 将来、アジアや太平洋地域をはじめとする国際的な場における支援活動に参加することを熱望する人物。

また、上記のいずれかに該当する学生を募集する上で、各種入学試験では次のような点を具体的な評価の指標とします。

1. 社会福祉の専門的な役割等について、的確に説明することができる人物か
2. 大学で学びたいことと自分自身の将来像とのつながりについて、的確に説明できる人物か
3. 国内外の社会問題、生活問題等について強く関心をもつ人物か
4. 社会参加および社会貢献に対して、意欲や積極的な姿勢をもつ人物か
5. 社会福祉を科学的に学ぶ(他者の声を聞き取り、要点を整理し、記述する)ための基礎的学力を有する人物か

3. 出題の意図

総合型選抜入試 B 日程の小論文試験では、下記のような設題を行いました。

法務省の 2014 年度版『犯罪白書』によると、近年、全国の刑務所では 65 歳以上の高齢者の受刑者が急増しているという報告がなされた。その大半は何度も犯罪を繰り返してしまう「再犯」「累犯」であり、万引き、無銭飲食、無賃乗車など比較的被害額が少ないこと

が特徴である。このような「累犯高齢者」が急増している背景にはどのような社会的要因があると考えられるのか、あなた自身の知識や推論に基づいて書きなさい。また高齢者の犯罪やその累犯を生み出さないために、あなた自身が考える予防策について社会福祉の視点で書きなさい。(800字以上、1000字以内)

この設題に関する「累犯高齢者」の増加は近年マスメディア等の報道でも取り上げられ、社会問題化しています。よって、アドミッション・ポリシーの3「国内外の社会問題、生活問題等について強く関心をもつ人物か」を確認することを意図した出題となっています。また、「累犯高齢者」に対する処遇として、司法の視点ではなく、社会福祉の視点から考え、要点をまとめ、記述することを求めています。つまり、同ポリシーの1「社会福祉の専門的な役割等について、的確に説明することができる人物か」、5「社会福祉を科学的に学ぶ(他者の声を聞き取り、要点を整理し、記述する)ための基礎的学力を有する人物か」を確認することを意図した出題となっています。

以上の具体的な設題を通して、同ポリシーⅠ「将来、社会の各分野で社会福祉の専門家として働くことを強く希望し、その素質が十分であると認められる人物」、Ⅱ「社会福祉の分野に活かせる具体的な能力や技能を有し、大学での勉学や将来において活用が期待できる人物」を確認することを意図しています。

4. その他特記事項(評価のポイント・アドバイスなど)

今回の設題に関する評価の重要なポイントは、「累犯高齢者」の増加や司法制度に関する基礎知識がない場合でも、社会福祉の視点を通して考え、説明することができるかどうかという点にあります。つまり、再犯を繰り返してしまう背後には、貧困、社会的孤立、そして認知症等の精神的な問題などの可能性があり、そのような他者に対する想像力、他者が抱えた問題に寄り添う姿勢も社会福祉の重要な視点です。また、犯罪の予防や、刑務所を出所した後のケアなど、ソーシャルワーカーができることを具体的な場面(家族、地域、行政、警察・司法等との連携など)で考えていくことが重要です。

以上のような他者への想像力と寄り添う姿勢、予防とケア、そして連携という視点は、社会福祉の視点、ソーシャルワーカーの役割として重要なポイントとなります。また、これらのポイントは、問題の論点整理や小論文の論理構成の上でも重要です。これらのポイントをしっかりと意識しながら日頃から社会にアンテナを張り、知識や情報を身につけておくと、様々な設題にある程度対応できるかと思います。

2021年度 総合型選抜試験(B日程) 総合文化学部 人間福祉学科心理カウンセリング専攻
「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
18	14

2. 人間福祉学科心理カウンセリング専攻 アドミッション・ポリシー

人間福祉学科心理カウンセリング専攻は、沖縄国際大学の「アドミッション・ポリシー」を以下の通り具現化し、人間のこころに関心を持ち、自らの個性と人間力の向上に努める人物を求めます。

- 1.人間の「こころと行動」と「人と人のつながり」について科学的視点から学ぶ意欲と関心を持つ人物。
- 2.大学で学ぶことに強い意欲と関心を持ち、自ら学び、常に自己研鑽、自己成長に努める人物。(自分を成長させようという意欲と態度を持つ人)
- 3.これまでに意欲的に取り組んできた活動や得意分野を大学での学びに結びつけ、さらに、心理学の知識や技術を今後のキャリア形成や日常生活に実践的に応用したいという真摯な態度を持つ人物。

3. 出題の意図

今回の小論文試験問題の意図は、心理カウンセリング専攻のアドミッション・ポリシーの1.にある人間の「こころと行動」および「人と人のつながり」について科学的視点から学ぶ意欲と関心を持っている人物かどうかを判断することです。社会生活に関心を持ち、起きている事象(今回はCOVID-19)の中で人間がどのような心理状態になるのか、その状態を解消または対処する方法について事実と照らし合わせながら考えることができているかどうかを評価します。

4. その他特記事項(評価のポイント・アドバイスなど)

評価のポイント

- ①社会で起きていることに関心を向け、客観的な情報や事実をおさえているか
- ②①を踏まえ、心理状態を推測し、自分なりの考えを述べることができるか